

2020

3

March
No. 325

広報

みしま

炎に一年の願いを込めて

第48回雪と火のまつり



鳥追い、サイノカミ、団子さし 伝統行事に染まった雪と火のまつり



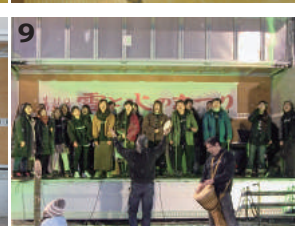
三島小5・6年生による鳥追い行列



第48回雪と火のまつりは2月8日、町民運動場で開催されました。会場は暖冬の影響により雪が不足し、雪像や雪上ステーションが作れない等の影響が出ましたが、1000人を超える来場者が訪れました。

団子さしには老人クラブ女性部の皆さんが協力。また西方地区の皆さんが御護符もちを作り会場のほか旅館の宿泊客にも配られました。高さ10メートルを超えるサイノカミは今年も川井・滝谷地区の皆さんが立てました。また松原地区の皆さんの指導により、小中学生がサイノカミ作りを体験しました。会場は模擬店で賑わい、楽しい雪上イベントで盛り上がりました。

町内外の160業者が協賛し、歴史あるまつりの開催を支えました。



1_ まつりのメインイベント、サイノカミが赤々と燃え上がり夜空に大きな花火が輝いた 2_ 楽しい競技に子どもも大人も楽しい一日を過ごした 3_ 白熱した雪上綱引き大会 4_ サイノカミを立てた川井地区の皆さん 5_ サイノカミを立てた滝谷地区の皆さん 6_ 色とりどりの団子の花が咲きました 7_ 大登生活改善センターで行われた採火式 8_ まつりの進行を担当したぺんぎんナッツのお二人 9_ 会津マスクワイアによるゴスペルライブ 10_ くじ付きのみかんまきで盛り上がりは最高潮に





令和元年度 第3回健康フォーラムを開催



(株)タニタヘルスリンク 寺西健二さん



大塚製薬(株) 野崎石松さん



多くの町民の皆さんが参加しました

令和元年度第3回健康フォーラムは2月22日、町民センターで開催され、約60人が参加しました。第1部は、株式会社タニタヘルスリンク 寺西健二さんによる「体組成計と活動量計の活用方法」についての講習会が行われました。体組成測定結果の見方や健康づくりに必要な運動の種類、簡単なトレーニング法等の説明がありました。昼食は、免疫力を上げる食事として、鶏肉とコーンの炊き込みご飯やさつま芋とレンコンのくるみ炒めなどの4品目のお弁当が提供され、町管理栄養士からメニューの紹介と作り方の説明がありました。

午後からの第2部では、大塚製薬株式会社 野崎石松さんの「水分補給と免疫について」の講習会があり、風邪とインフルエンザの違いについてや免疫力の高め方、1日に必要な水分量などの説明があり、参加された皆さんは熱心に聞き入っていました。

最後に、活動量計(歩数)の部門と桐の里倶楽部を利用したトレーニングの部門の表彰がそれぞれ行われ、栗城節雄さん(宮下)が両部門の男性の1位となりました。活動量計(歩数)の部 女性第1位が諏訪たか子さん(浅岐)、トレーニングの部 女性第1位が矢澤民子さん(高清水)で、それぞれ矢澤町長より表彰を受けました。

令和2年度も健康フォーラムをはじめとした、さまざまな健康づくり事業の実施を予定しています。町民の皆さんが、健康で元気な生活をいつまでもおくれるよう、町では皆さんの健康づくりをこれからもサポートしていきます。



エネルギーの地産地消へ

町に地域循環共生圏推進協議会を設立

町地域循環共生圏推進協議会設立総会は1月31日、交流センター山びこで開催されました。間伐材の需要を創出し森林整備を促し、エネルギーの地産地消による地域経済の活性化を目指す協議会で、矢澤町長が会長を務めます。「森林資源の活用に向けた環境づくり」「森林資源の供給とエネルギー化」「エネルギーの利活用」の3つの委員会を設け、事業検討を進め、令和3年度以降に本格的な事業を開始します。



地域循環共生圏推進協議会の様子



寄附金を手渡した田中智仁代表取締役社長
(左から2人目)



ご寄附ありがとうございました

滝谷建設工業(株)が雪と火のまつり実行委員会に寄附

滝谷建設工業株式会社から2月8日に開催された第48回雪と火のまつりを支援するため、ご寄附をいただきました。1月17日、田中智仁代表取締役社長らが役場を訪れ、小平和広町観光協会長(雪と火のまつり実行委員会長)に寄附金を手渡しました。いただいた寄附金は、雪と火のまつり当日の打上げ花火の経費に使用され、イベントを盛り上げました。



今年一年の無事故を祈願

交通安全合同祈願祭を開催

町交通安全合同祈願祭は2月7日、三島神社において行われました。町交通対策協議会長の矢澤町長、交通安全協会三島分会 佐藤好一分会長、会津坂下警察署 渡部文武地域交通課長ら関係者約15名が参列しました。青木基重宮司による祝詞奏上の後、関係機関の代表者が玉串を捧げ、今年一年の無事故を祈願しました。



交通安全合同祈願祭の様子



内堀雅雄 県交通対策協議会長から賞状と盾が
贈呈されました



市町村別交通事故防止コンクール

町が人口1万人未満の町村の部で1位に輝く

交通事故の減少率が大きい市町村を表彰する市町村別交通事故防止コンクールで町がCグループ(人口1万人未満の町村)で1位に輝きました。平成28年から平成30年までの3年間と昨年の事故発生数を比較し、増減率を算出し順位が決定されました。昨年の県内の交通事故発生件数は3,919件で55年ぶりに発生件数が4,000件を下回りました。今後も安全運転を心がけ、事故を起こさないようにしましょう。



三島町の未来への提言

小学生意見発表会を開催

小学生意見発表会は2月18日、町民センターで開催されました。三島小6年生の児童たちが「わたしたちがえがいた三島町の未来」をテーマに、空き家の増加、人口減少、伝統行事の衰退等の町の課題に対し、SNSを活用した伝統行事の魅力発信や地域交流の場となる空き家の利活用等の提言を行いました。矢澤町長は「皆さんからいただいた提言を、これからの町づくりに活かしていきます」と感想を述べました。



意見発表をする6年生の児童たち

会津桐文化保全事業

『桐の里 三島町』では、資源量の乏しくなった会津桐の育成・栽培を行い、併せて日本一の品質を誇る会津桐の普及啓発に取り組んでいます。今年度の活動内容を一部、ご紹介いたします。

3月 雪解けを待たず、桐の作業開始です！



町内外の方を対象に、桐の栽培作業を行いながら桐について学ぶ『勉強会』に集まってくださった方と一緒に実生苗（種から育てた苗）の種まき

台切り（雪解け後の作業）

4月 雪解け後、桐が活動を始める前に、畑の植え付け、施肥などを行います。



桐に肥料をあげる



分根（根をぶつ切りにしたもの）と、去年育てた実生苗を土から掘り起こして、畑に植える



5月 桐の芽が出始めると、芽掻きや根回りの除草作業等を行います。森林環境学習として、三島小学校・中学校の皆様に体験していただきました。



6～9月 この時期の桐の成長はとても早いです。それに負けずに、芽掻き、根回りの除草、刈り払い、虫被害の治療や消毒など、雨にも負けず、夏の暑さにも負けず、毎日コツコツ作業していきます。



大きく育った実生苗を大きいポットに植え替え



真夏の刈り払い

10～12月 だんだん、冬越しのための準備です。桐の葉が落ちてきたら、病気にかからないための消毒、畑で育てた苗の掘り起こし、冬囲いなど、桐たちが春までお休みするための準備です。



消毒作業
(石灰硫黄合剤)

手掘り



機械



苗の掘り起こし



三島小学校の児童の皆さんと一緒に、苗の定植と冬囲いを実施

町直営の桐植栽地にも苗を定植



その他 会津桐を多くの方に知っていただくために、パンフレットやイベントなど、出来ることから少しずつやってきました。これからも、三島の桐をよろしくお願いいたします。



桐のお花見さんぽ



会津桐植栽体験ツアー

- 桐の育て方報告会 -

『延期』のお知らせ
令和元年度の町の桐振興事業報告会を3月11日(水)に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とさせていただきます。日程が決まりましたら再度お知らせします。

【問】産業建設課

0241-48-5566

※この事業は、令和元年度福島県森林環境交付金を活用しています。



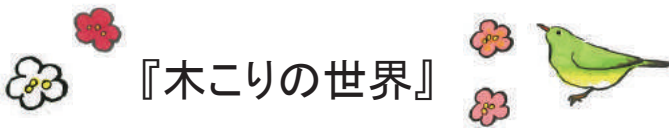
移住者インタビュー

三島町には様々な想いを抱いて移住された方がたくさんいらっしゃいます。インタビューを通して、空き家の利活用や移住定住のきっかけ、三島町の新たな魅力発見につながればと思います。移住者インタビューを連載します。

その10 こあらい はやと 小荒井 勇人さん(31歳)

大谷地区在住

福島市出身。福島大学、大学院の美術コースで学び、6年間高校で美術講師をしていましたが、木こりの親方と出会い、2018年4月に特殊伐採を得意とするアイパワーフォレスト株式会社就職。ご本人のユーモアとセンスの良さが垣間見えるブログ『木こりの日常』は必見！（諸事情により更新が滞っていますが…とのこと）



『木こりの世界』

「三島町へと移住したいきさつ
特段今までの生活に不満があったわけではありません。美術の専門性を活かしたかったので、講師から教師になりたいと思っていましたが、教員試験になかなか受からず…そんな29歳の夏に、今の職場の親方と出会い、人生が大きく展開しました。

幼い頃、骨の病気で股関節が悪く、小学1年生から3年生まで、まともに歩くことができませんでした。そのことがきっかけで、座ってできる美術に興味を持つようになりました。また、病弱だったために、動くことへのあこがれが強くなり、動けるようになってから合気道を始めました。身体を鍛えたことで、足もだいぶ良くなりましたが、美術講師として働くうちに身体を動かすことが減り、再び調子が悪くなっていました。

このまま動けなくなるのでは？という漠然とした不安を感じるようになった頃、三島町と出会いました。親方をはじめ60代はまだ若者、70〜80代も現役、90歳を過ぎても崖のような急斜面を上り下りする超人を目撃！衝撃を受けました。生涯現役で自然の中で力強く生きている三島の人々に魅せられ、色々な可能性を感じました。

「お仕事について
美術講師時代は不規則な生活でしたが、今は仕事から疲れて帰ってきて、強制的にシャットダウン、朝も自然と目が覚め、身体が喜んでいけると感じています。

林業は「木をチェーンソーで切るだけでしょ？」という身近なイメージもあり、基準になる作業単価も決まっておらず、一般的に林業従事者は危険な作業に見合った賃金ではないことが多いようです。確かに木を平らなところで、方向を気にせず切るだけなら簡単かもしれませんが、しかし状況が少し変わると危険が伴う命がけの現場であり、死亡率の高い仕事です。だからと言って、変に怯える必要はありませんが、高い技術が必要で努力を積み重ねなくてはならない世界です。親方の技は超然としており、背後に山の神様が何か憑いているんじゃないかと思うときがあり、知れば知るほど親方の技は遠く、何も出来ない自分には歯がゆさを感じます。自分の歩みは遅く、小さな進歩でありますが、それを感じて喜ぶことができます。日々、毎日が同じように繰り返されていく気がしないところにこの仕事の面白さがあります。

親方をはじめ会社が勉強会に力

を入れるのは、若い世代に特殊な技術を伝え学びの輪が広がり、日本全体の山の整備に貢献したいという使命感があるからです。また次世代の人が誇りを持って林業で暮していけるよう環境改善を図りたいという想いも持っています。

「いつかの野望
木彫を専門にやってきましたが、木を活かすという点において、今の仕事と木彫には通ずる部分があります。木を切る＝木を殺しているの一見思われますが、切り方で森を再生させ、木を活かすこともできます。ほとんどの彫刻家は、製材された木材を製材屋さんから買います。製材される時点で木が生きてきた形は整理され、作品にすることでさらに木の持ち味は薄くなってしまう側面があります。また、個性のある変わった形の木は扱いが難しく、基本的に市場に出回ることなく捨てられやすい命です。しかし自分もですが、そういう木こそ彫りたいという人もいます。そういう木の循環がいつか生まれたらと密かに野望を抱いています。今はまだ色々中途半端ですが、この道を選んだことは正しかった、将来的に全てが繋がっていくのではないかと感じています。

* 紙面の都合上、インタビューを抜粋して掲載しています。こちらで全文をご覧ください。
奥会津三島町での日々 <https://okuizumishimamachi.hatenablog.com/>

空き家コラム

ワークショップを開催しました！！

1月29日、移住体験住宅において、空き家・空き店舗の利活用による地域活性化を目的にしたワークショップを開催しました。当日は、宮下まちづくり委員会の皆さまをはじめ多くの方にご参加いただき、町に対する前向きな想い、意見を共有し、有意義な会となりました。

ワークショップでは、①町の魅力、②5年後こんな町になったらいいな、③お店を実現するアイデアについて、2グループに分かれ、意見を出し合いました。

①町の魅力

人

- ・優しい
- ・フレンドリー
- ・顔が見える
- ・近所付き合いがある
- ・面白そうな人がいっぱいいる

自然

- ・春夏秋冬の四季の移り変わり
- ・雪
- ・美しい山と川
- ・空気がいい
- ・星空

伝統・文化

- ・編み組
- ・おいしい郷土食
- ・サイノカミ
- ・お祭り
- ・ものづくり
- ・かしや猫
- ・昔話、伝説

環境

- ・ゆったりした空気感
- ・静か
- ・子どもがのびのび育つ
- ・災害が少ない
- ・温泉・只見線
- ・第一橋梁・古民家
- ・色々チャレンジさせてもらえそう



②5年後、これがあつたらいいなこんな町になったらいいな

施設・お店

- ・パン屋さん
- ・居酒屋さん
- ・ジビエ料理が食べられる地鶏が食べられるお店
- ・本屋さん、図書館
- ・シェアキッチン
- ・シェアオフィス

観光

- ・観光客増加
- ・美坂高原が年間通して遊べる
- ・町中にWi-Fi
- ・キハ40カフェ
- ・ゲストハウスや宿が各集落にある
- ・ものづくりする人たちのセレクトショップ
- ・一人旅のあこがれの地

環境

- ・遊び場、公園
- ・只見線ダイヤ増加
- ・空き家が減っている
- ・EVの電気スタンドがあちこちに
- ・自動運転タクシーやバス
- ・伝統行事が残っている
- ・桐の里復活
- ・変わらない自然

参加された方の感想（抜粋）

- ・若者の参加者が多く、これからの「まち」の住む環境を整える参考になると思う。
- ・まちのことを考える良い機会になった。色々な人の話を聞くことで改めて町の良さに気づくことができた。こういう機会が増えれば妄想が妄想でなくなる。
- ・こんなことができたらというアイデアが結構見つかりました。このような場を月一回くらいずつ開いてほしい。

今後の取り組みなど

今回は、空き家・空き店舗の具体的な利活用についてというよりは、どんな町になったらいいかという点を中心に皆さんでわいわい共有しました。今回出たアイデアや実現したい人の想いが形になり、町の活性化につながっていくように、来年度もこのような会を定期的開催し、空き家・空き店舗の利活用につなげていけたらと考えています。ご意見ご要望がありましたら、お気軽にお知らせください。



地域政策課 地方創生推進係 ☎ (48) 5533

協力隊コーナー Vol.11

みさわ りゅうた
三澤 龍太

2月から地域おこし協力隊の情報発信担当に着任しました三澤龍太です。簡単ですが自己紹介をさせてください。平成元年生まれの30歳。会津坂下町出身で、三島町に来る前は会津若松市に住んでいました。前職は通信機器を取り扱う仕事で、ネットワーク環境の構築やWi-Fi機器の設定など様々な工事をしていました。いわゆるパソコンオタクです（笑）物作りにも昔から興味があり、三島町の編み組細工を今は勉強しているところです。

着任したばかりですが、情報発信担当としてどんな仕事をするのか・していきたいかといいますと、三島町のホームページの更新や変更・取材等による新着情報のアップロード・SNS等を利用した新たな情報発信の提案などです。まだまだ知らないことだらけなので何をするにも右往左往していますが、気づいたことはどんどん発信していきたいと思っていますので、こんなものもあるよ！って教えてください。これから取材にお邪魔することがあるかと思いますが気軽に声をかけていただくと嬉しいです。これからどうぞよろしくお願いいたします。





高清水地区に伝承されている「百万遍」

文・写真 菅家敏一さん（高清水）



暦の上では立春も過ぎましたが、時々厳しい冷え込みになったりと、まだまだ天候不順であります。そんな中、大きな数珠を持って各家庭を巡る「百万遍」が2月7日、矢澤倉一区長を中心に大人の有志の皆さんで実施されました。「魔除け」「厄除け」「疾病除け」のため、訪れた家の方々と「なんまいだ・なんまいだ」と唱えながら、心を込めて数珠を3回廻します。数珠には鎮魂、追善、豊穰、除災等の思いが込められているとのこと。小さな地区の行事ではありますが、今後も継続していければと思います。



川井地区松音寺の団子まき

文・写真 角田伊一さん（川井）

2月15日、松音寺で涅槃会法要が行われました。この日はお釈迦様のお亡くなりになった日と伝えられ、松音寺では毎年「お釈迦様の団子まき」を行います。前日に川井と大登の檀家の方々が、赤、青、白3色の小団子を丸め小袋に詰めたものを涅槃図の飾られた本堂にお供えます。当日は住職の読経や檀信徒の焼香が行われた後、護持会役員のまく団子を歓声を上げながら拾いました。団子は茹でなおし食べると御利益があり、また一個ずつ巾着に入れ肌身離さず持参すると、よろずの災難を除けると伝えられています。



希少な子どもサイノ神

文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）



2月9日、桧原地区の伝統行事「子どもサイノ神」が行われました。少子化が進み、近年は大人だけで作業を進めています。今年も地区役員など9名の協力により、6メートルのサイノ神が完成しました。午後7時に阿部和彦区長と子ども達により点火され勢よく燃え上がり、お神酒の振る舞いやみかんまきも行われました。地区の皆さんは地区の繁栄と子どものサイノ神が長く継承できるよう祈っていました。



好天の中、団子まき用の托鉢

文・写真 本名与四郎さん（西方）

2月11日、二瓶辰雄さんを始めとする護持会の皆さんや三島小・中学生の子どもたちが西隆寺に参集し、団子まき用のための「托鉢」が行われました。早朝から天候に恵まれ、陽光の射す中、各家々では、前もって準備しておいた団子まき用お米を子どもたちに手渡す光景が見られました。また、遠藤弘佳住職による心温まるお経が、雪の少ない銀世界に響き渡りました。「団子まき」は3月20日の午前11時より西隆寺本堂で行われます。



子どもと高齢者の集いを開催

文・写真 小島 純さん（宮下）



宮下分館と荒屋敷分館では、2月15日、宮下活性化センターにおいて「子どもと高齢者の集い」を開催しました。今年は昔話を聞いた後、すいとんを頂くという内容で約30名が参加しました。昔話の指導を受けている、小学4年生の齋藤翔子さんと栗城花穂さんの2人が昔話を披露した後、語り部「ちゃんちゃんこ」の佐久間絹江さん、小松けい子さんが昔話を披露し、参加した子ども達や高齢者の皆さんも熱心に聞き入っていました。

三島町議会議員一般選挙

投票日 4月19日(日)

【期日前投票期間】

4月15日(水)から4月18日(土)まで

○場所 町民センター 談話室

○時間 午前8時30分から午後8時まで

【立候補予定者説明会】

三島町議会議員一般選挙の立候補予定者説明会を左記のとおり開催します。

立候補予定者又はその代理人の方は出席してください。

○日時 3月13日(金) 午後1時30分から

○会場 町民センター 視聴覚室

問 三島町選挙管理委員会 ☎(48) 5511

※立候補の届出状況により選挙を行わない場合もあります。



「川霧の町から」CDが寄贈されました

会津坂下町を拠点に「音楽で地域おこし」をテーマに活動しているビートマックススペシャルさんから三島町を舞台とした楽曲「川霧の町から」をはじめ、柳津町を舞台とした「柳津恋物語」、金山町を舞台とした「霧幻峡の渡し」の奥会津三部作が収録されたCD制作に伴い、観光協会に寄贈されました。観光協会で、無料で貸し出していますので、ぜひお聴きください。

問 観光協会 ☎ (48) 5000

県立宮下病院から
愛ばんしょ外来のお知らせ

宮下病院では、毎週木曜日「愛ばんしょ外来」（在宅療養生活支援外来）を開設しています。

病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口

地域に住む方々が気軽に立ち
寄れる交流場所の提供

地域に住む方々の健康維持・
増進、介護・疾病予防のため
の支援

上記を目的に看護師・薬剤師・管理栄養士・リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。

※費用は無料、予約不要です。どなたでも参加できますのでお気軽にお越しください。

月 日	内 容	講 師
3月12日(木)	・相談コーナー ・健康教室「湿布薬について」	薬 剤 師
3月19日(木)	・相談コーナー ・健康教室「慢性硬膜外血腫について」	看 護 師
3月26日(木)	・相談コーナー ・健康教室「湿布薬について」	薬 剤 師

○時 間 相談コーナー：①午前9時～正午 ②午後1～午後4時 健康教室：午前10時30分～午前11時

○会 場 宮下病院 外来待合室



「みしま健康ポイント」の対象です！
カードをご持参ください。

健康で元気な毎日に vol.40 新型コロナウイルス症予防のための免疫力を高めましょう!!

1. 睡眠をしっかりとり!

6～7時間睡眠は寝ましょう! また、午後10時から午前2時まで体を修復するホルモンが出るので、その時間にしっかり眠れるようにしましょう。

2. 生活リズムを整える!

起きる時間、寝る時間、食事の時間が決まっていると、体を守るホルモンがスムーズに出るため免疫がアップします。

3. ストレスを解消しましょう

人がストレスを継続して受けると、脳を守るためにホルモンの材料であるコレステロールを副腎に集結させます。そして、副腎はその材料を利用して多くの副腎ホルモンを造り、ストレスに対応します。しかし、ストレスが継続すると、ホルモンを造る副腎が疲弊し、副腎が良く働けなくなり免疫機能が低下します。自分の楽しい時間を持つなどストレスをできるだけ和らげる工夫をしましょう。

4. タンパク質や野菜をしっかり摂りましょう

免疫細胞の材料になるタンパク質は、肉、魚、卵、大豆製品などから過不足なくとりましょう。また、野菜やキノコ、海藻、果物、種実類に含まれるビタミンA(βカロチン)、ビタミンC、ビタミンE、ファイトケミカルと言った栄養素には免疫力を高める力があります。

5. 血糖値に注意しましょう

血糖値の高い状況が続くと、白血球やリンパ球等の体を守る物質に等がくっついてしまい、体を守れなくなります。甘いお菓子や飲み物を控えましょう。

◎新型コロナウイルス感染症対策本部を設置しました

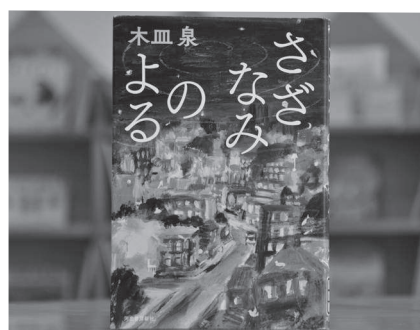
2月25日、町に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置しました。新型コロナウイルスに関連する情報の収集と提供、まん延対策等を実施します。対策本部設置に併せ、相談窓口を開設しました。ご不安な点等がありましたら、ご相談ください。

○相談窓口：町民課 保健福祉係 ☎(48)5565 時間：午前8時30分から午後5時15分(平日のみ)

町民センター図書コーナー 「ゆめぽけっと」から図書のご案内

図書コーナー『ゆめぽけっと』利用時間

月～金 午前9時～午後9時 土・日・祝 午前9時～午後5時
※年末年始は閉館いたします。 ☎公民館 ☎(48)5599



さざなみのよる

木皿泉：著

主人公のナスミは、病により、いま最後のときを迎えようとしていた。主人公の視点から描く物語に始まり、その後、さざなみが広がるかのように姉、妹、夫と主人公を取り巻く人物たちそれぞれの視点から、一人の人間についての想いを語り、紡いでいく短編集。

☆新着本

麦本三歩の好きなもの
住野よる：著

マリコ、うまくいくよ
益田ミリ：著

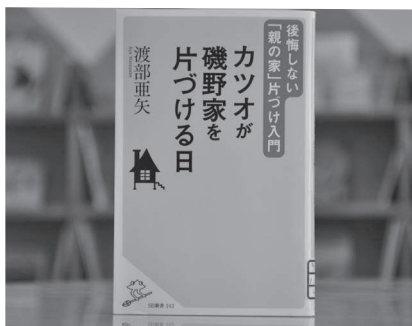
みえるとかみえないとか
ヨシタケシンスケ：著

#名画で学ぶ主婦業
田中久美子：著

カツオが磯野家を片付ける日

渡部亜矢：著

親と離れて暮らす子世代(メインは50～60代)に今、「実家の片づけ」という問題が降りかかっています。親が急に亡くなり実家を片付けるとき、何が起きるのか、何をしなければならないのかについて、磯野家の人々に当てはめて分かりやすく解説しています。



町史編さん室だより

第50回

明治期の公衆衛生と赤痢病の流行

日本は江戸時代においても諸外国より衛生的であったとも云われますが、日本において「衛生」という言葉が使用され、国の政策として衛生思想が人々に普及しはじめたのは明治以降のことです。明治七年（一八七四）に發布された「医制」のなかに衛生行政に対する規定がなされ、翌年には内務省に衛生局が新設されました。明治十年代にコレラが大流行した際には「伝染病予防規則」が定められ、明治三十年（一八九七）には「伝染病予防法」が制定されます。こういった伝染病の流行への国の対策が衛生に対する人々の意識の向上につながっていきます。

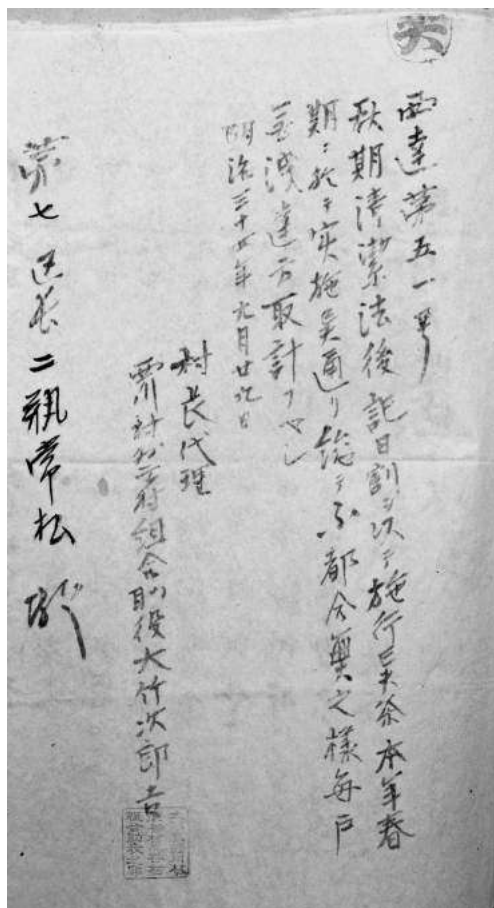
明治三十一年、西川村外二ヶ村組合村（後に宮下村）では前年に出された県令により衛生組合を設けました。この規約には衛生のなかでもいわゆる「公衆衛生」に分類されるような事柄について書かれており、特に「衛生思想ノ発達ヲ図ル」ため普及に努めるべき事項として①水質不良の水は飲料として用いない、②春には井戸の水換えを行う、③下水・塵芥置場・廁などの掃除は怠らない、④川や溝などに塵芥を棄てない、⑤肥料は人家から遠い場所に貯蓄する、⑥腐るような飲料などは供用しない、⑦中毒症状をおこす草木・果実・肉などは供用しない、⑧種痘を受ける、⑨まじないや祈祷だけに頼らず医療を受ける、⑩伝染病流行時は大勢と飲食しない、⑪伝染病罹患もしくは類似の症状が出た場合は医師にかかる（以上、要約）ことなどが挙げられています。また明治三十四年には県令により「清潔保持法」が規程され、衛生状態を清潔に保持することを目的とした具体的な取組み方が定められました。日々の暮らしを清潔に保つだけでなく、春秋二回は大々的に清潔法を施行するとしており、時期になれば役場から実施する旨の通知がなされました。こういった衛生観念や清潔保持の取り組みが当時の人々にすぐに受け入れられたのかは不明ですが、県の検疫委員を招いたり、幻燈機を使用したりしての講習会も開かれており、役場が積極的に普及に努めていたことは間違いありません。

その最中となる明治三十二年、組合村において赤痢病が流行します。

六月には「焦眉ノ急施を要する費用」として、赤痢病予防費の予算が決議されました。この費用は多額を要したようで、十一月には銀行や会社法人から千円を借り入れる事も決議されています。その予算の使途として同年「伝染病予防費支給規定」が定められ、予防事務に従事した者の役職等に応じた日当、また彼らがその職務上感染してしまった場合の医療費、患者への食費・薬剤費・死亡時の葬祭に係る費用などの支給額が規定されました。赤痢病予防に、またその患者への支援に対し、村を挙げて取り組んだことがわかります。

昭和六年（一九三一）にまとめられた『郷土誌』には「明治三十二年ノ赤痢病大流行以来一般ノ衛生思想ハ急激ナル進歩ヲナシタリ」とあり、組合村において赤痢の流行は不幸なことでしたが、衛生に対して人々の意識が高まる契機となったことがうかがえます。

三島町史編さん室



明治34年秋季清潔法実施通知(二瓶常一家文書)

ご家庭に古い文書・古い写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。

☎ (52) 2165

環境研だより 第20回

交通システムのアンケート調査について 日本大学理工学部に訪問インタビュー(後編)



しぶしぶくん

先月号に引き続き、三島町で行っている交通システムのアンケート調査について日本大学理工学部交通システム工学科交通環境研究室のみなさんへ、インタビューを行った内容をご紹介します。後編となる今回は藤井敬宏教授のインタビューの様子をお届けします。



写真左から藤井敬宏教授、伊東英幸准教授、学部4年生の平田結香さん

—藤井先生は普段どのような研究をされているのでしょうか？

藤井(以下敬称略):交通が不便な地域を対象にして、特に高齢者や子供たちが安全安心に交通システムを利用できるような手段を地域の中にどう根付かせるか、といったことに取り組んでいます。最近では中山間地域での自動運転、住民協働のまちづくりの一環として、住民の方たちが力を合わせて交通手段を作り上げるシステムについて研究しています。

—三島町でもアンケート調査を行っている「住民主体の送迎システム」とはどのような考え方なのでしょうか

「住民主体の送迎システム」とは、車を持っている住民がドライバーとなり、どこかに移動したい住民を手助けするシステム

藤井:基本的には“お互い様”という考え方で、将来は自分自身の問題になるということを地域の方たちが感じ合い、今できる人が困っている人を支える仕組みです。住民同士で議論をして、お互いに顔見知りではない人が集まった中でどのように信頼関係を作ったらいいか、などをひとつずつクリアしながら、助け合いの精神の中で作りあげるシステムだと

考えています。

—同じくアンケート調査にあった「自動運転車」は現在どのような展開を見せているのでしょうか？

藤井:道路交通法が改正されて、自動運転はレベル3(不具合が発生したときに対応できるドライバーが運転席に乗車する段階)に到達しまして、新たな第一歩が始まりました。全国でも自動運転への取組みが進んでおり、例えば静岡県では自動運転をどういう形で地域の中に根付かせるか、実証運行に取り組み始めました。伊豆半島にある松崎町では道はばが6メートル未満のような山道での実験も行っており、三島町のような山あいの地域でも中山間地域対応型の移動システムとして活用できるという感触を持っています。



インタビューに答える藤井敬宏教授

日本大学理工学部のみなさん、ご協力ありがとうございました。藤井先生のインタビューの詳しい様子はみしまテレビにて放送していますので、併せてご覧ください。

今年度の環境研だよりはこれが最後の記事となります。1年間読んでいただきましてありがとうございました。令和2年度もよろしくお願いします。

<筆者紹介>

常盤 達彦(ときわ たつひこ)

1月31日に地域循環共生圏推進協議会の総会が行われました。新聞にも取り上げられ、注目を集めている取組みです。「まちの話題」に取り上げられておりますので、ぜひご覧ください。



●国立環境研究所福島支部

地域環境創生研究室 ☎0247(61)6572



消防署からのお知らせ

令和2年春季全国火災予防運動

期間：令和2年3月1日～3月7日



ひとつずつ
いいね！で確認 火の用心



春季全国火災予防運動は、空気が乾燥し火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図ることで、火災の発生を防止し、火災による死傷者の発生や財産の損失を防ぐことを目的に毎年実施しています。期間中は、全国各地で防火・防災に関する様々な行事が行われますので、この機会に、防火に対する正しい知識や技能の習得に努めましょう。

○家庭にひそむ火災の原因

右図の□に✓を入れてご家族で話し合ってみましょう！

☑ ストープをチェック

- ☑ ストープをカーテンや家具などに近づけない。
- ☑ 洗濯物をストープの上で干したり、近くで乾かさない。
- ☑ スプレー缶など高温になると危険なものを近くに置かない。
- ☑ 石油ストーブに灯油を入れるときは、火を消してからする。

☑ コンセントをチェック

- ☑ たこ足配線は絶対にしない。
- ☑ 隠れているコンセントやプラグもホコリがたまらないよう掃除する。
- ☑ 電気コードは束ねたまま使わない。
- ☑ 電気コードをソファや机の脚で踏みつけない。

☑ たばこをチェック

- ☑ 寝たばこ、くわえたばこは絶対にしない。
- ☑ 燃えやすい物のそばでたばこを吸わない。
- ☑ 灰皿に吸いがらをためない。
- ☑ 灰皿に氷を入れておく。

☑ こんろをチェック

- ☑ こんろのそばを離れるときは必ず火を消す。
- ☑ 天ぷら油が熱くなりすぎないように注意する。
- ☑ こんろの上にフキンなどを干さない。
- ☑ グリルの中にたまった油はその都度掃除する。

☑ 放火をチェック

- ☑ ごみは収集日の決められた時間帯に出す。
- ☑ 建物の周りにダンボールや新聞紙などを置きっぱなしにしない。
- ☑ 車やバイクのカバーは燃えにくい防災品にする。
- ☑ 車庫や物置にカギをかける。

問 会津坂下消防署 三島出張所
—火事・救急・救助は— 電話 (52) 3032
119 番まで FAX (52) 3033



会津坂下警察署からのお知らせ

未納料金を要求する
はがきやメールにご注意ください！



公的機関や債権回収業者とよく似た名前をかたり、はがき・メール・電話でアダルトサイト等の未納利用料金を請求されお金をだまし取られる被害が発生しています。
相手に連絡する前に、家族や警察に相談してください。

問 会津坂下警察署 ☎ 0242 (29) 3451

街頭犯罪発生件数 (1月31日現在)

区 分	管 内	三島町
空 き 巣	0	0
忍 込 み	0	0
事 務 所 荒 し	0	0
自販機ねらい	0	0
車 上 ね ら い	0	0
強制わいせつ	0	0
街頭犯罪合計	0	0
そ の 他 刑 法 犯	2	1
全 刑 法 犯	2	1

※上記発生件数は、令和2年1月1日からの累計数となっています。

令和2年度 幹部候補生（一般・歯学・薬剤科）及び予備自衛官補募集

募集項目	資格	受付期間	試験期日
幹部候補生（一般）	22歳以上26歳未満の者	3月1日⑩～5月1日⑤	5月9日⑤・10日⑥
幹部候補生（歯科・薬剤科）	専門の大卒（見込含）で20歳以上30歳未満の者		5月9日⑤
予備自衛官補	【一般】18歳以上34歳未満の者	4月10日⑤まで	4月18日⑤～4月22日⑥のいずれか1日を指定されます
	【技能】18歳以上で国家免許資格等を有する者		

応募・問い合わせ：自衛隊福島地方協力本部会津若松出張所
会津若松市門田町大字黒岩字大坪 57-1 ☎ 0242 (27) 6724

6月開講の職業訓練のご案内

■訓練生を募集しています

CAD・NCコース 電気設備技術コース

- 募集期間 3月18日⑥から5月18日⑤
- 募集訓練科名 CAD・NCコース
電気設備技術コース
- 募集定員 各15名
- 訓練期間 6月2日から11月30日まで（6ヶ月間）
- 対象者 公共職業安定所に求職登録されている方で、職業訓練の受講が望ましいと判断された方
- 受講料 無料
- 選考日 5月20日⑥ 午前9時から

■施設見学会（職業訓練って、なに…？）

- 開催日時 3月9日⑤・3月11日⑥・3月16日⑤・3月18日⑥・3月23日⑤・3月25日⑥
各日ともに午後1時30分から午後3時45分
- 内容
 - ・今までのキャリア（職業能力）にプラスして、新たな技能習得のための職業訓練について理解していただく説明会で、当センターが実施しています。また、施設見学会当日は、希望される方は訓練体験も受けられます。
 - ・訓練内容について詳しく知りたい方は、最寄りのハローワークからお申し込み下さい

※訓練生募集及び施設見学会に関するお問合せ先

ポリテクセンター会津 訓練課 ☎ 0242 (26) 0520

自動車の登録(変更・移転・抹消)はお済みですか

■自動車税種別割は、毎年4月1日現在で、運輸支局に登録されている所有者(割賦販売購入の場合は使用者)に課税されます。

■例年、「持っていない車の納税通知書が来た」「納税通知書が来ない」等の問い合わせが数多く寄せられています。

■納税通知書が間違いないように、次のような場合は、3月31日(火)までに運輸支局で登録手続きを済ませてください。

- ①住所が変わった
- ②自動車を手に入れた
- ③廃車した など

※自動車税は6月1日までの納付にご協力をお願いします。

問 会津地方振興局県税部 ☎0242(29)5261

「労働困りごと相談窓口」のお知らせ

賃金未払い、解雇、退職など労使間のトラブルに関する困りごとや疑問についての相談をお受けします。相談は無料で秘密は厳守します。相談は、平日の面談や電話での相談のほか、FAXや電子メールで随時受け付けています。お気軽にご相談ください。

○受付時間 午前8時～正午

午後1時～午後5時

(土・日・祝日を除く)

問 福島県労働委員会事務局 ☎0245(21)7594

視覚障がい者の教育相談のお知らせ

福島県立視覚支援学校では、疾病などによる視機能低下(著しい視力低下や視野狭窄、視野欠損等)により、進学や就労でお困りの方のための教育相談を行っています。お気軽にお問い合わせください。

○日時 毎週月・水・金曜日の午前9時から午後4時まで

○対象者 乳幼児から成人まで

問 福島県立視覚支援学校

☎024(534)2574

ご寄附ありがとうございました

町社会福祉協議会へのご寄附

ご遺志によるもの

板橋 徳夫様(滝原)

山内 和夫様(西方)

社会福祉協議会からのお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月開催の各地区サロンについては、中止とさせていただきます。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

問 社会福祉協議会 ☎(52)3344

はじめまして赤ちゃん



森 千優(宮下) 建介・瑛子

お悔み申し上げます



山内 キヨ子(93才・西方)

※掲載を希望される方もされない方も、各種手続き時に『広報みしま掲載同意書』に記載事項を記入していただきます。ご協力をお願いいたします。

問 特命担当課 ☎(48)5232

3月の納税【納期限 3月31日】

▼国民健康保険税(随期)

▼介護保険料【普通徴収】(随期)

▼後期高齢者保険料

【普通徴収】(随期)

問 町民課町民係 ☎(48)5555

忘れずにお納めください

町の人口と世帯

2月1日現在

人口	1,592	-3	出生	0
男	786	0	死亡	6
女	806	-3	転入	4
世帯	756	-1	転出	1

⑤住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

東京 2020 オリンピック聖火リレー 三島町 区間開催のお知らせ

○日 時：3月27日(金)

①第一只見川橋梁ビューポイント 午後4時5分～午後4時15分

②三島中学校～三島町観光協会駐車場 午後4時37分～午後4時55分

当日の応援について

【宮下地区について】

◇地区内県道を聖火ランナーが走ります。両脇の歩道が「応援スペース」となりますので走路に入らない様に応援をお願いします。

◇当日は応援用に「聖火リレーエンブレム入りうちわ」を配布しますので、ぜひご利用ください。

◇当日、スタート地点で「三島小学校鼓笛隊演奏」ゴールでは「金山町太鼓サークルぼんぽこ」による太鼓演奏で聖火ランナーを盛り上げます！

【第1只見川橋梁ビューポイント】※入場規制が想定されます。

◇急斜面及び遊歩道の幅が狭いこともあり、当日は一般の方の入場が制限される予定ですので、ご了承ください。（※映像配信等を予定しております。）

【お振舞の実施について】

会場にお集まりの皆様にご会津地鶏の「地鶏汁」お振舞をいたします。聖火リレー通過後、役場前にて開催予定ですので、ぜひご賞味下さい。（数量限定）

【盛上げ花火の実施について】

聖火リレーが通過した後、三島町では通過を記念して「花火打上げ」を宮下地区で予定しています。ぜひ、ご鑑賞下さい。※打上げ予定時間 聖火リレー終了後（宮下地区で鑑賞できます）

○聖火リレー実施に係る問合せは役場 特命担当課へご連絡下さい ☎ (48) 5232

町長日記

（祭りのあと）

No. 56

日本を代表するシンガーソングライターと言えば「吉田拓郎」という名前が浮かんできます。我々年代の青春は、彼の歌とともにあったといっても過言ではありません。「結婚しようよ」「たどり着いたらいつも雨降り」「地下鉄に乗って」「夏休み」「人間なんて」「ペニーレインでバーボン」「春だったね」そして拓郎の多くの曲の中で最も印象に残っているのが「祭りのあと」という曲であります。

今でも孤独？になると「祭りのあとの淋しさが いやでもやってくるのなら」「中省略」もう帰ろう、もう帰ってしまおう 寝静まった町を抜けて」と口ずさみながら自己満足している自分、そしてその歌から力をもたせて何事にも挑戦する自分があることを発見するのであります。

拓郎の歌詞の内容や単純な旋律そして彼の絞り出すような声質は、私たちが生きた時代の空気を捉え、私にとつては、古い歌でなく今を生きる未来に挑戦する勇気をいただくことができ、新しい詩であります。半世紀等に渡って時代のトップランナーとして走り続けて来た彼の生き様に感動している処であります。68歳になった今でも、井上陽水やサザン等々の詩を聞きながら眠りに入ります。

仕事と遊びという区分をする事も必要ですが、仕事と遊びが融合するような自分の人生を歩んで行きたいと常に考えていましたが、なかなか叶いません。しかしその願望を常に忘れた事はありません。

人間の社会は「祭り・イベント」や「行事」が必要であり、現在という視点、そして未来の方向性を考えるうえで必要であります。多くの行政関係においても、特に予算編成方針の中で、特に財政的観点や時代背景の視点から、スクラップ&ビルドという言葉をよく多用しますが、スクラップがなかなかできていないのが現実であります。

地域や国や県そして市町村単位でも多くの祭りがあります。拓郎の詩ではないが、祭りのあとは虚無感に襲われるときがあります。

大規模な森林火災、大規模な環境破壊、新型コロナウイルスによる世界各国の脆弱さ、経済成長という崩壊があります。この現実を直視するとき、今までの世界の方向性と違う新たな価値を構築していく必要があるのではないかと考えます。その方向性のヒントは、地域による「自分の足下」からの発想が世界を変える事になるのでないかと考えています。

三島町長 矢澤 源成